

2027（令和9）年度  
群馬県立県民健康科学大学大学院

診療放射線学研究科  
（博士前期課程・博士後期課程）

## 学生募集要項

### 第1次募集

出願期間 2026年7月21日（火）～8月3日（月）

試験期日 2026年9月5日（土）

予備日 2026年9月6日（日）

（※第1次選抜の結果、募集人員に満たなかった場合、第2次募集を行います。）

### 第2次募集

出願期間 2027年1月8日（金）～1月19日（火）

試験期日 2027年2月6日（土）

予備日 2027年2月7日（日）

## 群馬県立県民健康科学大学

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 323 番地の 1  
群馬県立県民健康科学大学  
電 話 027-235-1211(代)／027-235-1244(教務係直通)  
F A X 027-235-2501  
E-Mail [nyuusi@gchs.ac.jp](mailto:nyuusi@gchs.ac.jp)  
U R L <https://www.gchs.ac.jp/>

## 目 次

### ◆ 博士前期課程

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2	募集人員	1
3	選抜の種類	1
4	出願資格	2
5	出願前面談	3
6	受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者との事前相談 について	3
7	出願資格認定審査	3
8	出願手続	4
9	選抜方法	6
10	合格発表及び合格通知	7
11	入学手続	7
12	試験結果の情報提供	7
13	第2次募集	8
14	入学料及び授業料	9
15	大学院設置基準第14条による特例の適用	9
16	長期履修制度	9
17	奨学金制度	10
18	個人情報保護	10
19	教育課程の概要	10
20	研究指導教員	12

### 【出願関係添付書類等】

- 入学願書 (様式RM-1)
- 受験票・写真票
- 振込依頼書 ※博士前期・後期課程共通
- 入学試験料の「払込受付証明書（大学提出用）」貼付欄
- 研究計画書 (様式RM-2)
- 研究業績調書 (様式RM-3)
- 出願資格認定審査申請書 (様式RM-4)
- 出願資格認定審査履歴書 (様式RM-5)
- 受験承諾書 (様式RM-6)
- 在職承認書 (様式RM-7)
- 提出書類チェックリスト
- （封筒貼付用）宛名用紙

## ◆ 博士後期課程

1	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	15
2	募集人員	15
3	選抜の種類	15
4	出願資格	16
5	出願前面談	16
6	受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者との事前相談 について	17
7	出願資格認定審査	17
8	出願手続	18
9	選抜方法	20
10	合格発表及び合格通知	22
11	入学手続	22
12	試験結果の情報提供	22
13	第2次募集	23
14	入学料及び授業料	23
15	大学院設置基準第14条による特例の適用	24
16	長期履修制度	24
17	奨学金制度	25
18	個人情報保護	25
19	教育課程の概要	25
20	研究指導教員	26
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学案内図	28

---

### 【出願関係添付書類等】

- 入学願書 (様式RD-1)
  - 受験票・写真票
  - 振込依頼書 ※博士前期・後期課程共通
  - 入学試験料の「払込受付証明書（大学提出用）」貼付欄
  - 研究計画書 (様式RD-2)
  - 研究業績調書 (様式RD-3)
  - 出願資格認定審査申請書 (様式RD-4)
  - 出願資格認定審査履歴書 (様式RD-5)
  - 受験承諾書 (様式RD-6)
  - 在職承認書 (様式RD-7)
  - 提出書類チェックリスト
  - （封筒貼付用）宛名用紙
-

# 博士前期課程

# 1 アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

## I 求める学生像

診療放射線学研究科博士前期課程では、診療放射線学に関わる実践的な問題解決能力を持つ高度医療専門職者、研究者及び教育者を養成するため、次のような学生を求めています。

1. 診療放射線学の教育を受けるための基礎学力を持っている人
2. 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を持っている人
3. 診療放射線学における課題を自ら見だし解決する意欲を持っている人
4. 診療放射線学の修得を通して広く社会へ貢献する意欲を持っている人
5. 診療放射線学を基礎とした高度医療専門職者、研究者、教育者を目指している人

## II 入学前に身につけてきてほしいこと

1. 語学、専門科目を中心とした幅広い基礎学力
2. 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識
3. 課題を自ら見だし解決する意欲
4. 社会へ貢献する意欲

## III 入学者選抜の基本方針

一般選抜、社会人特別選抜共通

1. 外国語試験、出願書類、口述試験により、語学、専門科目を中心とした幅広い基礎学力を評価します。
2. 出願書類を踏まえ、口述試験により、診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を評価します。
3. 口述試験により、課題を自ら見だし解決する意欲を評価します。
4. 出願書類を踏まえ、口述試験により、社会へ貢献する意欲を評価します。

# 2 募集人員

専攻	専攻分野	募集人員	
		一般選抜	社会人特別選抜
診療放射線学専攻	放射線画像検査学分野 放射線治療学分野	5名	若干名

※一般選抜の募集人員には、社会人特別選抜の募集人数「若干名」が含まれます。

# 3 選抜の種類

放射線画像検査学分野、放射線治療学分野ともに「一般選抜」と「社会人特別選抜」を行います。出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜の種類を変更することはできません。

## 4 出願資格

### (1) 一般選抜

出願資格は次の各号のいずれかに該当する者又は 2027 年 3 月 31 日までにいずれかに該当する見込みの者とします。

- ① 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業期間が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 次のいずれかに該当する者であって、本学大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
  - ア 大学に 3 年以上在学した者
  - イ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ウ 外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑩ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者させる本学大学院において、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力がある者と認めたもの
- ⑪ 本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

### (2) 社会人特別選抜

保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑪までのいずれかに該当する者

(注) 出願資格のうち、「一般選抜」の⑨から⑪により出願を行おうとする者（「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑨から⑪に該当するものとして出願を行おうとする者を含む。）は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができます。

## 5 出願前面談

出願希望者は出願前に指導を受けようとする教員に連絡し予約を取り、選抜方法、入学後の履修計画や研究計画について、必ず面談をしてください。

面談期間：随時。ただし、出願資格認定審査が必要な場合（「4 出願資格」⑨から⑪に該当する者）は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談を受けてください。

教員については、12～14 ページの「研究指導教員」を参照してください。

連絡先：〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 323 番地の 1

群馬県立県民健康科学大学

電話 027-235-1211(代)/027-235-1244 (教務係直通)

F A X 027-235-2501

E-Mail nyuusi@gchs.ac.jp

U R L <https://www.gchs.ac.jp/>

## 6 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願前面談と併せてご相談ください。

なお、相談のため必要に応じて志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等に、来学を願うことがあります。

## 7 出願資格認定審査

出願資格のうち、「一般選抜」の⑨から⑪のいずれかにより出願を行おうとする者（「社会人特別選抜」において「一般選抜」の当該資格により出願を行おうとする者を含む。）は、あらかじめ出願資格の認定審査を受けてください。

### (1) 審査方法

出願資格の認定審査は、提出書類の審査により行います。

### (2) 提出書類

① 出願資格のうち、「一般選抜」の⑨又は⑩により出願を行おうとする者（社会人特別選抜の該当者を含む。）は、次の書類を提出してください。

	提出書類名	注意事項
1	出願資格認定審査申請書（様式RM-4）	・別添の様式を使用
2	成績証明書	・在籍又は出身大学長等が作成し、厳封したもの
3	在学（期間）証明書	・在籍又は出身大学長等が作成したもの
4	審査結果通知用返信封筒	・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの

② 出願資格のうち、「一般選抜」の⑪により出願を行おうとする者（社会人特別選抜の該当者を含む。）は、次の書類を提出してください。

	提出書類名	注意事項
1	出願資格認定審査申請書（様式RM-4）	・別添の様式を使用
2	最終学校卒業証明書	・出身学校長等が作成し、厳封したもの

3	最終学校成績証明書	・出身学校長等が作成し、厳封したもの
4	出願資格認定審査履歴書（様式RM-5）	・別添の様式を使用
5	審査結果通知用返信封筒	・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの

(3) 申請期間

2026年6月19日（金）から7月6日（月）まで（7月6日付消印有効）

(4) 提出方法

提出書類を封筒に一括封入の上、郵送（簡易書留速達）により提出してください。

(5) 提出先

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係

〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1 電話 027-235-1211(代)／027-235-1244(教務係直通)

(6) 出願資格認定審査結果の通知

出願資格認定審査の結果は、2026年7月16日（木）に本人あてに郵送します。

認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

(7) 注意事項

- ① 書類提出後の内容変更は認められません。
- ② 提出された書類は返却できません。
- ③ 審査の必要に応じて、書類の追加提出を求める場合があります。

## 8 出願手続

(1) 出願書類

出願書類は下表のとおりです。

提出書類名	一般	社会人	該当者	注意事項
①入学願書（様式RM-1）	○	○		・別添の様式を使用
②研究計画書（様式RM-2）	○	○		・別添の様式を使用
③研究業績調書（様式RM-3）	○	○		・別添の様式を使用
④受験票・写真票	○	○		・別添の様式を使用
⑤入学試験料	○	○		・30,000円 ・別添の振込依頼書により上記金額を金融機関の窓口で振り込み、「払込受付証明書（大学提出用）」を所定の欄に貼り付けてください。「払込受付証明書（大学提出用）」は金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの、鉛筆書きのものは無効です。なお、別途振込手数料（志願者負担）が発生しますのでご了承ください。また、出願開始日の7日前から振り込みを受付けます。
⑥卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書	○	○		・出身学校長等が作成し、厳封したもの（出願資格認定審査で提出済みの場合は不要）

⑦学位授与証明書			○	・大学改革支援・学位授与機構より学位を授与された者のみ提出
⑧短期大学又は専門学校の特攻科修了(見込み)証明書及び学士の学位授与申請書の受理証明書			○	・2027年3月31日までに大学改革支援 ・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者のみ提出
⑨最終学歴の成績証明書	○	○		・出身学校長等が作成し、厳封したもの(出願資格認定審査で提出済みの場合は不要)
⑩受験承諾書(様式RM-6)		○		・大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請する者のみ提出 ・所属長等が作成したもの
⑪在職承認書(様式RM-7)		○		・大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請する者のみ提出 ・所属長等が作成したもの
⑫在職期間等証明書		○		・社会人特別選抜において出願を行おうとする者が提出 ・所属長等が作成したもの(任意様式) ・出願資格認定審査で提出済みの場合は不要
⑬国籍及び在留資格が確認できるもの			○	・外国籍の者のみ提出
⑭出願資格認定書の写し			○	・出願資格の認定を受けた者のみ提出
⑮受験票返信用封筒	○	○		・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの

## (2) 出願期間

2026年7月21日(火)から8月3日(月)まで(8月3日付消印有効)

## (3) 出願方法

出願書類を封筒に一括封入の上、宛名用紙を貼り、郵送(簡易書留速達)により提出してください。

## (4) 出願先

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係  
〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1 電話 027-235-1211(代)/027-235-1244(教務係直通)

## (5) 注意事項

- ① 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- ② 提出された書類及び入学試験料は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、入学後においても入学が取り消されることがあります。また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
- ④ 改姓等により証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。
- ⑤ 出願書類受け付け後、志願者には受験票を郵送しますが、9月3日(木)までに到着しない場合は、大学事務局教務係まで連絡してください。

## 9 選抜方法

### (1) 入学者選抜方法

#### ① 一般選抜

筆記試験（外国語）の試験成績、口述試験の成績及び提出書類の記載事項により総合的に判定します。

#### ② 社会人特別選抜

筆記試験（外国語）の試験成績、口述試験の成績及び提出書類の記載事項により総合的に判定します。

### (2) 筆記試験（外国語）及び口述試験の配点

筆記試験（外国語） 100点、口述試験 100点

### (3) 試験日程

試験日	試験科目	時間
2026年9月5日（土）	外国語	9：20～11：20
	口述試験	13：00～

※1 午前9時からガイダンスを開始します。

※2 2026年9月6日（日）は、予備日として試験を行う場合があります。

### (4) 試験科目の出題意図

① 外国語は、英語文献を読解できる能力を筆記試験により判定します。

② 口述試験は、質疑応答を通し、受験者の専門知識、研究能力及び診療放射線学のリーダーとしての資質・適性を判定します。

### (5) 試験会場

群馬県立県民健康科学大学

前橋市上沖町 323 番地の 1

※試験会場については、28 ページの大学案内図を参照してください。

### (6) 受験上の注意事項

① 試験日当日は、受験票を必ず持参してください。

② 午前 8 時 50 分までに指定された教室へ入場してください。

③ **試験開始後 30 分を超える遅刻をした者については、受験を認めません。**

④ 外国語の受験に際しては、英和辞典の持ち込み及び使用を認めます。ただし、電子辞書及び付箋等が貼られている辞書の使用は認めません。

⑤ 口述試験は、順に行いますので、試験開始までしばらくお待ち頂くことがあります。

⑥ 携帯電話等は、他の受験者の迷惑になるので電源を切っておいてください。

⑦ 試験会場は、受験者以外立入禁止です。試験日前日は、受験者についても試験会場への立入りを禁じます。

⑧ 上履き、スリッパの持参は不要です。

⑨ 試験日当日は大学構内の食堂及び売店は営業しませんので、昼食は各自持参してください。

⑩ 受験者の宿泊のあつ旋は行いません。

⑪ 台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故等の事情により、試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による試験開始時刻を変更する場合は下記のサイトで情報提供します。なお、再試験の場合は、原則翌日以降に実施します。

【スマホ・携帯電話サイト】

URL <https://daigakujc.jp/gchs/>

※携帯電話・スマートフォン・パソコンからアクセスできます。



## 1 0 合格発表及び合格通知

### (1) 発表日時

2026年9月15日（火）午前10時

### (2) 発表方法

群馬県立県民健康科学大学構内掲示板において合格者の受験番号を掲示するとともに、参考として合格者の受験番号を本学のホームページに同日の午前11時以降に掲載します。

なお、電話等による合格・不合格の問い合わせには一切応じません。

### (3) 合格通知

合格者には発表日付けで合格通知書を郵送します。

### (4) 追加合格

追加合格を行う場合、10月6日（火）以降に入学願書に記載された電話番号に連絡します。

## 1 1 入学手続

### (1) 手続期間

2026年9月28日（月）から10月5日（月）まで

### (2) 入学手続に必要な書類

合格者に個別に通知します。

### (3) 手続方法

郵送（簡易書留速達、2026年10月5日（月）必着）にて手続きを行ってください。  
上記期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退として取り扱います。

### (4) 書類提出の場所

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係

〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1 電話 027-235-1211(代) / 027-235-1244(教務係直通)

## 1 2 試験結果の情報提供

2027年度入学試験に係る個人別成績について、受験者本人の口頭による申し出により閲覧できます。希望する場合は、受験票を持参の上、本人が直接来学してください。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

### (1) 情報提供内容

- ① 一般選抜 A・B・C・Dのランク（判定結果）
- ② 社会人特別選抜 A・B・C・Dのランク（判定結果）

(2) 情報提供期間及び時間

2026年9月15日(火)から10月14日(水)までの午前8時30分から正午まで及び午後1時から午後5時15分までの間(ただし、9月15日は、合格者の受験番号掲示の後)提供します。(土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く)

(3) 情報提供場所

群馬県立県民健康科学大学事務局

## 1 3 第2次募集

(第2次募集の有無については、2026年10月6日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。)

(1) 出願資格認定審査申請期間

2026年12月4日(金)から12月16日(水)まで(12月16日付消印有効)  
※郵送(簡易書留速達)により提出してください。

(2) 出願資格認定審査結果の通知

2027年1月7日(木)に本人あて郵送します。

(3) 出願期間

2027年1月8日(金)から1月19日(火)まで(1月19日付消印有効)

(4) 試験日程

試験日	試験科目	時間
2027年2月6日(土)	外国語	9:20~11:20
	口述試験	13:00~

※1 選抜方法、筆記試験(外国語)及び口述試験の配点、試験科目の出題意図、試験会場、受験上の注意事項は第1次募集と同じです。

※2 2027年2月7日(日)は、予備日として試験を行う場合があります。

(5) 合格発表日時

2027年2月15日(月)午前10時

(6) 入学手続期間

2027年2月24日(水)から3月3日(水)まで(郵送(簡易書留速達)、3月3日(水)必着)

(7) 試験結果の情報提供期間及び時間

2027年2月15日(月)から3月15日(月)までの午前8時30分から正午まで及び午後1時から午後5時15分までの間(ただし、2月15日は、合格者の受験番号掲示の後)提供します。(土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く)

(8) 情報提供場所

群馬県立県民健康科学大学事務局

## 1 4 入学料及び授業料

### (1) 入学料

入学料 282,000 円（予定額）

ただし、県内者（2026年9月1日現在（2次募集合格者は2027年2月1日現在）で、本人、配偶者又は一親等の親族のいずれかが引き続き1年以上群馬県内に住所を有している者）は、141,000円とします。

（注1）上記金額については変更されることがあります。

（注2）入学料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

### (2) 授業料

年額 535,800 円〔前期分 267,900 円、後期分 267,900 円〕（予定額）

（注1）上記金額については変更されることがあります。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

（注2）授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

## 1 5 大学院設置基準第 14 条による特例の適用

保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等で働いている社会人が、その職を継続しつつ本研究科で学びたいとの意欲を有する場合、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を受けることができます。当該規定では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と定められており、この特例を適用することにより、学生は、それぞれの研究テーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の授業形態のほか、夜間授業や春季又は夏季等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ、修士論文を作成することができます。

## 1 6 長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している、あるいは育児・介護等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを認める制度です。なお、修学状況の変動により、長期履修期間を変更することが可能です。ただし、入学後（在学中）に申請の場合は翌年度からの適用になります。

### (1) 対象者

職業を有する者等で標準修業年限での修了が困難な者を対象とします。

### (2) 長期履修期間

長期履修制度を利用しての履修期間は4年を限度とします。

### (3) 申請手続

長期履修を希望する者は、群馬県立県民健康科学大学大学院長期履修規程に基づき、所定の様式による申請書を提出していただきます。具体的な申請手続については、合格後に通知します。

### (4) 長期履修が認められた場合の授業料

長期履修が認められた場合、年額の授業料は次のとおり算出します。

群馬県公立大学法人の授業料等に関する規程で定められた金額×標準修業年限（2年）÷許可された修業年限

（例）修業年限が4年で許可された者の授業料の年額

535,800 円(2026年度授業料)×2年÷4年=267,900 円（年額）

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

## 1 7 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し、選考の上、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

## 1 8 個人情報保護

出願書類により出願者から提出された個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報は、学内で適切に管理の上、入学者の選抜、入学手続、入学者に対する学務業務、学修指導、学生支援、成績追跡調査等に利用します。

## 1 9 教育課程の概要

### (1) 授業科目・単位

診療放射線学研究科には、「放射線画像検査学分野」と「放射線治療学分野」があります。また、両分野の共通科目があります。共通科目には、看護学研究科との共通科目があります。

科目区分		授業科目の名称	単位数
共通科目		○診療放射線学特論	2
		○研究方法論と基礎統計学	2
		○放射線画像解剖学特論	2
		○放射線学シミュレータ特論	2
		○保健医療特論	2
		○保健医療安全学特論	2
		基礎物理学特論	1
		量子力学特論	2
		原子核物理学特論	2
		○専門職教育展開論I(カリキュラム編成の基礎)	2
		○専門職教育展開論II(カリキュラム編成の実際)	2
		○研究と倫理	2
		○教育と倫理	2
	専門科目	放射線画像検査学分野	磁気共鳴学特論
造影検査学特論			2
放射線画像技術学特論			2
放射線画像解析学特論I			2
放射線画像解析学特論II			2
機能画像学特論			2
核医学検査技術学特論			2
医療画像情報学特論			2
医学物理学特論II			2
医学物理学特論IV			2
放射線治療学分野			放射線治療学特論
		先端放射線治療学特論	2
		放射線生物学特論	2
		放射線管理計測学特論	2
		放射線安全管理学特論	2

	重粒子治療技術学演習	2
	医学物理学特論I	2
	医学物理学特論III	2
	医学物理学特論V	2
特 別 研 究	診療放射線学特別研究	12

○印の科目は看護学研究科との共通科目です。

修了要件は、本課程に原則として2年以上在籍し、所定の単位（30単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格することです。

履修方法は以下の通りです。

- ① 放射線画像検査学分野・放射線治療学分野のいずれかに所属します。
- ② 所属する分野の専門科目から6単位以上を履修します。
- ③ 診療放射線学特別研究12単位を履修します。
- ④ 残りの12単位は、共通科目又は専門科目（所属分野以外の専門科目を含む）から選択履修します。

## (2) 大学院連携コース科目・単位

県民健康科学大学と群馬大学は、放射線生命医科学分野において活躍する高度な人材を養成するために、大学院教育研究において連携し、「放射線生命医科学コース」を設置しています。

### 連携コース教育課程

授 業 科 目	単位数
統計・情報処理演習	2
放射線生物学	2
情報医療学講義	2
医用加速器工学	1
臨床腫瘍学講義	2
医学物理演習	1
医学物理実習	1

連携コースの履修方法は下記のとおりです。

- ① 入学後の履修登録（履修登録：4単位以上10単位以内）において、連携コースの選択を行います。
- ② 連携コース修了要件は、連携コース授業科目4単位以上の修得が必要です。ただし、6単位まで本課程の修了要件単位（30単位以上）に含めることができます。

## (3) 医学物理コース

診療放射線学研究科では、2012年度から「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」、2017年度から「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）』養成プラン」に参画し、2019年度からは医学物理士養成を目的とした教育プログラムが一般財団法人医学物理士認定機構から医学物理教育コースの認定を受けています。

本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位（41単位以上（必修科目を含む））を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格すれば医学物理コース修了証が授与されます。放射線画像検査学分野、放射線治療学分野どちらの学生も履修することができます。

## 20 研究指導教員

出願希望者は、3 ページの「5 出願前面談」を参照の上、研究指導を希望する教員の出願前面談を受けてください。

分野	担当教員名	職位	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像 検査学	上原 真澄	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 IVR における塞栓物質の開発に関する研究</li> <li>2 造影剤内包マイクロカプセルの放出制御に関する研究</li> <li>3 マイクロカプセルを利用したドラッグデリバリシステムに関する研究</li> </ol> </li> <li>・生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 タンパク質の糖化反応とその定量評価法に関する研究</li> <li>2 タンパク質の糖化反応と生体物質の粘弾性の評価に関する研究</li> </ol> </li> <li>・診療放射線技術における職場教育に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経験年数の少ない職員に対する合理的な診療放射線技術の教育方法に関する研究</li> <li>2 診療放射線技術の専門性を高めるための合理的な教育方法に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	佐藤 哲大	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体医工学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 磁気共鳴拡散テンソル画像の解析及び応用</li> <li>2 磁気共鳴冠動脈画像の画質改善法の検討</li> <li>3 生体信号の解析及び高機能化</li> </ol> </li> </ul>
	下瀬川 正幸	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療画像情報学・応用光学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 画質の物理評価・視覚評価に関する研究</li> <li>2 画像処理に関する研究</li> </ol> </li> <li>・教育社会学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 放射線医療専門職の教育制度・政策に関する研究</li> <li>2 放射線医療専門職の教育課程・教育方法に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	大崎 洋充	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核医学技術に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SPECT 定量解析技術に関する研究</li> <li>2 PET の撮像法標準化と定量解析技術に関する研究</li> <li>3 核医学画像処理技術に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	多鹿 友喜	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学分野のイメージング技術に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 3D イメージングの手法と装置の開発</li> <li>2 3D イメージングに適した多様な生物試料調整法の開発</li> </ol> </li> </ul>
	林 則夫	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 画像診断検査法に関する研究</li> <li>2 医用画像の評価に関する研究</li> <li>3 医用画像処理法の開発に関する研究</li> <li>4 MRI 検査法及びMRI 安全性に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	渡部 晴之	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医用画像処理に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医用画像の認識及び処理</li> <li>2 人工知能(AI)技術を用いた撮像法の検証</li> <li>3 人工知能(AI)技術を用いたコンピュータ支援</li> </ol> </li> </ul>

放射線画像 検査学	川村 拓	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 画像評価に関する研究課題</li> <li>1 放射線感受性ゲル線量画像の評価に関する研究</li> <li>2 医用画像解析及び処理に関する研究</li> <li>• 放射線化学に関する研究課題</li> <li>1 3次元線量計の画像化に関する開発</li> </ul>
	寺下 貴美	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 診療放射線学教育学に関する研究課題</li> <li>1 ICT を利用した教育支援ツールの開発に関する研究</li> <li>2 診療放射線学における教育法・評価法に関する研究</li> </ul>
	長島 宏幸	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医用画像処理技術に関する研究課題</li> <li>1 コンピュータ支援診断システムの開発に関する研究</li> <li>2 表示階調の統一化に関する研究</li> <li>3 低コントラスト分解能の向上に関する研究</li> </ul>
	丸山 星	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医用画像解析および画像処理に関する研究課題</li> <li>1 医用画像システムの性能評価に関する研究</li> <li>2 画質評価および画像解析手法の開発に関する研究</li> <li>3 病変検出能の定量化および可視化に関する研究</li> <li>4 機械・深層学習を用いた医用画像解析に関する研究</li> </ul>
	山崎 真	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 放射線検出器に関する研究課題</li> <li>1 シンチレータと光検出器を組み合わせた新型 PET 用放射線検出器に関する研究</li> <li>2 放射線検出器を含めた汎用 DAQ システム (ASIC &amp; FPGA) の開発に関する研究</li> <li>3 放射線検出器開発に伴う Geant4 を用いたシミュレーション研究</li> <li>• PET 画像解析に関する研究課題</li> <li>1 positronium lifetime imaging のための画像解析アルゴリズムの開発に関する研究</li> <li>2 血流 PET 定量画像における入力関数推定のためのアルゴリズム開発に関する研究</li> <li>• 診療放射線学教育に関する研究課題</li> <li>1 初年次教育における効果的な教育手法に関する研究</li> <li>2 メタ認知能力と学修習慣に関する研究</li> </ul>
	佐藤 充	講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生体医工学・医療福祉工学に関する研究課題</li> <li>1 医療用予防安全技術の開発に関する研究</li> <li>2 人工知能(AI)技術を用いた医療用支援ツールの開発</li> <li>3 Natural user interface を用いた医療機器操作システムの開発に関する研究</li> </ul>

放 射 線 治 療 学	五十嵐 博	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題</li> <li>1 ヒューマンエラー及び事故防止対策に関する研究</li> <li>2 組織及び品質マネジメントに関する研究</li> <li>3 コミュニケーションに関する研究</li> </ul>
	原 孝光	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線による殺細胞効果の増感に関する研究</li> <li>1 上皮成長因子受容体（EGFR）の経路を標的とした分子標的薬剤と放射線の併用による分子標的放射線療法の開発</li> <li>2 放射線の殺細胞効果を増強する薬剤の探索</li> <li>3 免疫放射線療法の基礎的検討</li> <li>4 放射線線質の違いによる生物効果の差の分子生物学的解析</li> </ul>
	大野 由美子	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題</li> <li>1 粒子線治療の高精度化に関する研究</li> <li>2 新しい診断方法、照射方法に関する基礎研究と要素開発</li> <li>3 QA・QCのための線量の実測と線量推計計算方法の検討</li> </ul>
	杉野 雅人	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境放射線（能）計測及び管理・防護に関する研究課題</li> <li>1 地表ガンマ線及び宇宙線による被ばく線量の評価</li> <li>2 ラドン及びトリロンに関する研究</li> <li>3 環境放射線（能）測定法に関する研究</li> </ul>
	高田 健太	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療物理学及び医学物理学に関する研究課題</li> <li>1 放射線治療ビーム（粒子線，BNCTを含む）の物理的線量や線質の評価に関する研究</li> <li>2 放射線治療ビーム（粒子線，BNCTを含む）の生物学的線量に関する研究</li> <li>3 モンテカルロシミュレーションによる放射線の挙動解析</li> </ul>

# 博士後期課程

# 1 アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

## I 求める学生像

診療放射線学研究科博士後期課程では、診療放射線学に関わる研究成果を産出する高度な能力を持ち、研究成果について群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる人材を養成するため、次のような学生を求めています。

1. 診療放射線学研究を進めるための高い学力を持っている人
2. 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を持っている人
3. 診療放射線学における課題を自ら見だし解決する意欲を持っている人
4. 診療放射線学の修得を通して広く社会へ貢献する意欲を持っている人
5. 診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを目指している人

## II 入学前に身につけてきてほしいこと

1. 語学、専門科目を中心とした高い学力
2. 診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識
3. 課題を自ら見だし解決する意欲
4. 社会へ貢献する意欲
5. 研究遂行に必要な協調性・リーダーシップ・行動力

## III 入学選抜の基本方針

一般選抜、社会人特別選抜共通

1. 外国語試験、出願書類、口述試験により、語学、専門科目を中心とした高い学力を評価します。
2. 出願書類を踏まえ、口述試験により、診療放射線学に対する深い関心と強い目的意識を評価します。
3. 口述試験により、課題を自ら見だし解決する意欲を評価します。
4. 出願書類を踏まえ、口述試験により、社会へ貢献する意欲を評価します。
5. 出願書類を踏まえ、口述試験により、研究遂行に必要な協調性・リーダーシップ・行動力を評価します。

# 2 募集人員

専攻	専攻分野	募集人員	
		一般選抜	社会人特別選抜
診療放射線学専攻	放射線画像検査学分野 放射線治療学分野	2名	若干名

※一般選抜の募集人員には、社会人特別選抜の募集人数「若干名」が含まれます。

# 3 選抜の種類

放射線画像検査学分野、放射線治療学分野ともに「一般選抜」と「社会人特別選抜」を行います。出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜の種類を変更することはできません。

## 4 出願資格

### (1) 一般選抜

出願資格は次の各号のいずれかに該当する者又は 2027 年 3 月 31 日までにいずれかに該当する見込みの者とします。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
  - ア 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院にて、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - イ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 までに 24 歳に達するもの

### (2) 社会人特別選抜

保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの

(注) 出願資格のうち「一般選抜」の⑦又は⑧により出願を行おうとする者（「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑦又は⑧に該当するものとして出願を行おうとする者を含む。）は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができます。

## 5 出願前面談

出願希望者は出願前に指導を受けようとする教員に連絡し予約を取り、選抜方法、入学後の履修計画や研究計画について、必ず面談をしてください。

面談期間：随時。ただし、出願資格認定審査が必要な場合（「4 出願資格」⑦又は⑧に該当する者）は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談を受けてください。

教員については、26～27 ページの「研究指導教員」を参照してください。

連絡先： 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 323 番地の 1

群馬県立県民健康科学大学

電話 027-235-1211(代)/027-235-1244 (教務係直通)

F A X 027-235-2501

E-Mail nyuusi@gchs.ac.jp

U R L <https://www.gchs.ac.jp/>

## 6 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願前面談と併せてご相談ください。

なお、相談のため必要に応じて志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等に、来学を願うことがあります。

## 7 出願資格認定審査

出願資格のうち、「一般選抜」の⑦又⑧により出願を行おうとする者（「社会人特別選抜」において「一般選抜」の当該資格により出願を行おうとする者を含む。）は、あらかじめ出願資格の認定審査を受けてください。

### (1) 審査方法

出願資格の認定審査は、提出書類の審査により行います。

### (2) 提出書類

- ① 出願資格のうち、「一般選抜」の⑦により出願を行おうとする者（社会人特別選抜の該当者を含む。）は、次の書類を提出してください。

	提出書類名	注意事項
1	出願資格認定審査申請書（様式RD-4）	・別添の様式を使用
2	卒業証明書	・出身大学長等が作成し、厳封したもの
3	成績証明書	・出身大学長等が作成し、厳封したもの
4	出願資格認定審査履歴書（様式RD-5）	・別添の様式を使用
5	研究歴証明書	・機関の長が作成したもの
6	志願理由書	・本研究科を志願した理由を1,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。
7	研究概要報告書	・これまでの研究概要を3,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。
8	研究業績調書（様式RD-3）	・別添の様式を使用
9	発表論文	・代表論文3編以内（各3部、コピー可）
10	審査結果通知用返信封筒	・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの

- ② 出願資格のうち、「一般選抜」の⑧により出願を行おうとする者（社会人特別選抜の該当者を含む。）は、次の書類を提出してください。

	提出書類名	注意事項
1	出願資格認定審査申請書（様式RD-4）	・別添の様式を使用
2	最終学校卒業証明書	・出身学校長等が作成し、厳封したもの
3	最終学校成績証明書	・出身学校長等が作成し、厳封したもの
4	出願資格認定審査履歴書（様式RD-5）	・別添の様式を使用
5	在職期間等証明書	・実務経験者のみ提出 ・機関の長が作成したもの（任意様式）

6	志願理由書	・本研究科を志願した理由を1,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。
7	研究概要報告書	・これまでの研究概要を3,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。
8	研究業績調書（様式RD-3）	・別添の様式を使用
9	発表論文	・代表論文3編以内（各3部、コピー可）
10	審査結果通知用返信封筒	・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの

(3) 申請期間

2026年6月19日（金）から7月6日（月）まで（7月6日付消印有効）

(4) 提出方法

提出書類を封筒に一括封入の上、郵送（簡易書留速達）により提出してください。

(5) 提出先

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係

〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1 電話 027-235-1211(代)／027-235-1244(教務係直通)

(6) 出願資格認定審査結果の通知

出願資格認定審査の結果は、2026年7月16日（木）に本人あてに郵送します。

認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

(7) 注意事項

- ① 書類提出後の内容変更は認められません。
- ② 提出された書類は返却できません。
- ③ 審査の必要に応じて、書類の追加提出を求める場合があります。

## 8 出願手続

(1) 出願書類

出願書類は下表のとおりです。

提出書類名	一般	社会人	該当者	注意事項
①入学願書（様式RD-1）	○	○		・別添の様式を使用
②修士の学位論文等	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士学位又は専門職学位を有する者は、修士論文の写し1部及びその要旨1部を提出。修士論文要旨は、修士論文の内容を2,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。</li> <li>・修士学位又は専門職学位を取得する見込みの者は、研究経過報告書（研究計画及び修士論文の進捗状況）を3,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。</li> <li>・出願資格認定審査を受けた者は提出不要</li> </ul>

③発表論文	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術雑誌等に掲載された論文を有する場合、代表論文3編以内（各4部、コピー可）</li> <li>・出願資格認定審査で提出済みの場合は不要</li> </ul>
④志願理由書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科を志願した理由を1,000字程度にまとめ、A4用紙（任意様式）に記載すること。</li> <li>・出願資格認定審査を受けた者は提出不要</li> </ul>
⑤研究計画書（様式RD-2）	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別添の様式を使用</li> </ul>
⑥研究業績調書（様式RD-3）	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別添の様式を使用</li> <li>・出願資格認定審査を受けた者は提出不要</li> </ul>
⑦受験票・写真票	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別添の様式を使用</li> </ul>
⑧入学試験料	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30,000円</li> <li>・別添の振込依頼書により上記金額を金融機関の窓口で振り込み、「払込受付証明書（大学提出用）」を所定の欄に貼り付けてください。「払込受付証明書（大学提出用）」は金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの、鉛筆書きのものは無効です。なお、別途振込手数料（志願者負担）が発生しますのでご了承ください。また、出願開始日の7日前から振り込みを受付けます。</li> </ul>
⑨修士の修了証明書又は修了見込み証明書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長等が作成し、厳封したもの</li> <li>・出願資格認定審査を受けた者は提出不要</li> </ul>
⑩修士の学位授与証明書		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学改革支援・学位授与機構より学位を授与された者のみ提出</li> </ul>
⑪修士の修了（見込み）証明書及び修士の学位授与申請書の受理証明書		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年3月31日までに大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与される見込み者のみ提出</li> </ul>
⑫修士の成績証明書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長等が作成し、厳封したもの</li> <li>・出願資格認定審査を受けた者は提出不要</li> </ul>
⑬受験承諾書（様式RD-6）		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請する者のみ提出</li> <li>・所属長等が作成したもの</li> </ul>
⑭在職承認書（様式RD-7）		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を申請する者のみ提出</li> <li>・所属長等が作成したもの</li> </ul>

⑮在職期間等証明書		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人特別選抜において出願を行うとする者が提出</li> <li>・所属長等が作成したもの（任意様式）</li> <li>・出願資格認定審査で提出済みの場合は不要</li> </ul>
⑯国籍及び在留資格が確認できるもの			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の者のみ提出</li> </ul>
⑰出願資格認定書の写し			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願資格認定審査を受けた者のみ提出</li> </ul>
⑱受験票返信用封筒	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、320円切手を貼付したもの</li> </ul>

## (2) 出願期間

2026年7月21日（火）から8月3日（月）まで（8月3日付消印有効）

## (3) 出願方法

出願書類を封筒に一括封入の上、宛名用紙を貼り、郵送（簡易書留速達）により提出してください。

## (4) 出願先

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係  
〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1 電話 027-235-1211(代)／027-235-1244(教務係直通)

## (5) 注意事項

- ① 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- ② 提出された書類及び入学試験料は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、入学後においても入学が取り消されることがあります。また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
- ④ 改姓等により証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。
- ⑤ 出願書類受け付け後、志願者には受験票を郵送しますが、9月3日（木）までに到着しない場合は、大学事務局教務係まで連絡してください。

# 9 選抜方法

## (1) 入学者選抜方法

- ① 一般選抜  
筆記試験（外国語）の試験成績、口述試験の成績及び提出書類の記載事項により総合的に判定します。
- ② 社会人特別選抜  
筆記試験（外国語）の試験成績、口述試験の成績及び提出書類の記載事項により総合的に判定します。

## (2) 筆記試験（外国語）及び口述試験の配点

筆記試験（外国語） 100点、口述試験 100点

### (3) 試験日程

試験日	試験科目	時間
2026年9月5日（土）	外国語	9：20～11：20
	口述試験	13：00～

※1 午前9時からガイダンスを開始します。

※2 2026年9月6日（日）は、予備日として試験を行う場合があります。

### (4) 試験科目の出題意図

- ① 外国語は、英語文献を読解できる能力を筆記試験により判定します。
- ② 「口述試験」は、受験者による10分程度のプレゼンテーションの後、質疑応答を行います。プレゼンテーションでは、これまでの研究の概要及び今後の研究計画を明確に相手に伝えられる論理性及び表現力を判定します。質疑応答では、1) 研究分野及び関連分野の専門知識・技術、2) 一般的な科学知識及び研究倫理規範等、を問うことで研究に必要な基礎知識の修得度を評価します。加えて、3) 研究への取り組み姿勢（主体性や協働性等）、理解力、思考力、発想力、判断力等の応用力・問題解決能力を評価することで、受験者の研究能力及び診療放射線学のリーダーとしての資質・適性を判定します。

### (5) 試験会場

群馬県立県民健康科学大学  
前橋市上沖町323番地の1

※試験会場については、28ページの大学案内図を参照してください。

### (6) 受験上の注意事項

- ① 試験日当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 午前8時50分までに指定された教室へ入場してください。
- ③ **試験開始後30分を超える遅刻をした者については、受験を認めません。**
- ④ 外国語の受験に際しては、英和辞典の持ち込み及び使用を認めます。ただし、電子辞書及び付箋等が貼られている辞書の使用は認めません。
- ⑤ 口述試験のプレゼンテーションは、1) マイクロソフト社のパワーポイントファイルをUSBメモリに入れ持参する、2) PC等の持ち込み（HDMI端子）のいずれも可とします。詳細は、出願前面談時に教員にご確認ください。
- ⑥ 口述試験は、順に行いますので、試験開始までしばらくお待ち頂くことがあります。
- ⑦ 携帯電話等は、他の受験者の迷惑になるので電源を切っておいてください。
- ⑧ 試験会場は、受験者以外立入禁止です。試験日前日は、受験者についても試験会場への立入りを禁じます。
- ⑨ 上履き、スリッパの持参は不要です。
- ⑩ 試験日当日は大学構内の食堂及び売店は営業しませんので、昼食は各自持参してください。
- ⑪ 受験者の宿泊のあつ旋は行いません。
- ⑫ 台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故等の事情により、試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による試験開始時刻を変更する場合は下記のサイトで情報提供します。なお、再試験の場合は、原則翌日以降に実施します。

#### 【スマホ・携帯電話サイト】

URL <https://daigaku.jc.jp/gchs/>

※携帯電話・スマートフォン・パソコンからアクセスできます。



## 1 0 合格発表及び合格通知

### (1) 発表日時

2026年9月15日（火）午前10時

### (2) 発表方法

群馬県立県民健康科学大学構内掲示板において合格者の受験番号を掲示するとともに、参考として合格者の受験番号を本学のホームページに同日の午前11時以降に掲載します。

なお、電話等による合格・不合格の問い合わせには一切応じません。

### (3) 合格通知

合格者には発表日付けで合格通知書を郵送します。

### (4) 追加合格

追加合格を行う場合、10月6日（火）以降に入学願書に記載された電話番号に連絡します。

## 1 1 入学手続

### (1) 手続期間

2026年9月28日（月）から10月5日（月）まで

### (2) 入学手続に必要な書類

合格者に個別に通知します。

### (3) 手続方法

郵送（簡易書留速達、2026年10月5日（月）必着）にて手続きを行ってください。

上記期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退として取り扱います。

### (4) 書類提出の場所

群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係

〒371-0052 前橋市上沖町 323 番地の 1 電話 027-235-1211(代) / 027-235-1244(教務係直通)

## 1 2 試験結果の情報提供

2027年度入学試験に係る個人別成績について、受験者本人の口頭による申し出により閲覧できます。希望する場合は、受験票を持参の上、本人が直接来学してください。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

### (1) 情報提供内容

① 一般選抜 A・B・C・Dのランク（判定結果）

② 社会人特別選抜 A・B・C・Dのランク（判定結果）

### (2) 情報提供期間及び時間

2026年9月15日（火）から10月14日（水）までの午前8時30分から正午まで及び午後1時から午後5時15分までの間（ただし、9月15日は、合格者の受験番号掲示の後）提供します。（土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く）

### (3) 情報提供場所

群馬県立県民健康科学大学事務局

## 1 3 第2次募集

(第2次募集の有無については、2026年10月6日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。)

### (1) 出願資格認定審査申請期間

2026年12月4日(金)から12月16日(水)まで(12月16日付消印有効)

※郵送(簡易書留速達)により提出してください。

### (2) 出願資格認定審査結果の通知

2027年1月7日(木)に本人あて郵送します。

### (3) 出願期間

2027年1月8日(金)から1月19日(火)まで(1月19日付消印有効)

### (4) 試験日程

試験日	試験科目	時間
2027年2月6日(土)	外国語	9:20~11:20
	口述試験	13:00~

※1 選抜方法、筆記試験(外国語)及び口述試験の配点、試験科目の出題意図、試験会場、受験上の注意事項は第1次募集と同じです。

※2 2027年2月7日(日)は、予備日として試験を行う場合があります。

### (5) 合格発表日時

2027年2月15日(月)午前10時

### (6) 入学手続期間

2027年2月24日(水)から3月3日(水)まで(郵送(簡易書留速達)、3月3日(水)必着)

### (7) 試験結果の情報提供期間及び時間

2027年2月15日(月)から3月15日(月)までの午前8時30分から正午まで及び午後1時から午後5時15分までの間(ただし、2月15日は、合格者の受験番号掲示の後)提供します。(土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く)

### (8) 情報提供場所

群馬県立県民健康科学大学事務局

## 1 4 入学料及び授業料

### (1) 入学料

入学料 282,000円(予定額)

ただし、県内者(2026年9月1日現在(2次募集合格者は2027年2月1日現在)で、本人、配偶者又は一親等の親族のいずれかが引き続き1年以上群馬県内に住所を有している者)は、141,000円とします。

(注1) 上記金額については変更されることがあります。

(注2) 入学料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注3) 本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については不要です。

## (2) 授業料

年額 535,800 円〔前期分 267,900 円、後期分 267,900 円〕（予定額）

(注1) 上記金額については変更されることがあります。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注2) 授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

## 1 5 大学院設置基準第 14 条による特例の適用

保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等で働いている社会人が、その職を継続しつつ本研究科で学びたいとの意欲を有する場合、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を受けることができます。当該規定では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と定められており、この特例を適用することにより、学生は、それぞれの研究テーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の授業形態のほか、夜間授業や春季又は夏季等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ、博士論文を作成することができます。

## 1 6 長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している、あるいは育児・介護等の事情により、標準修業年限（3 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを認める制度です。なお、修学状況の変動により、長期履修期間を変更することが可能です。ただし、入学後（在学中）に申請の場合は翌年度からの適用になります。

### (1) 対象者

職業を有する者等で標準修業年限での修了が困難な者を対象とします。

### (2) 長期履修期間

長期履修制度を利用しての履修期間は 6 年を限度とします。

### (3) 申請手続

長期履修を希望する者は、群馬県立県民健康科学大学大学院長期履修規程に基づき、所定の様式による申請書を提出していただきます。具体的な申請手続については、合格後に通知します。

### (4) 長期履修が認められた場合の授業料

長期履修が認められた場合、年額の授業料は次のとおり算出します。

群馬県公立大学法人の授業料等に関する規程で定められた金額×標準修業年限（3 年）÷許可された修業年限

（例）修業年限が 6 年で許可された者の授業料の年額

535,800 円(2026 年度授業料)×3 年÷6 年=267,900 円（年額）

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

## 1 7 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事実等を審査し、選考の上、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

## 1 8 個人情報保護

出願書類により出願者から提出された個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報は、学内で適切に管理の上、入学者の選抜、入学手続、入学者に対する学務業務、学修指導、学生支援、成績追跡調査等に利用します。

## 1 9 教育課程の概要

診療放射線学研究科には、「放射線画像検査学分野」と「放射線治療学分野」があります。また、両分野の共通科目があります。共通科目には、看護学研究科との共通科目があります。

科目区分		授業科目の名称	単位数
共通科目		診療放射線学教育学特論	2
		○保健医療組織管理学特論	2
専門科目	放射線画像検査学分野	放射線画像解剖学特講演習	2
		放射線画像解析学特講演習	2
		磁気共鳴学特講演習	2
		造影検査学特講演習	2
		機能画像学特講演習	2
		医療画像情報学特講演習	2
	放射線治療学分野	先端放射線治療学特講演習	2
		重粒子治療技術学特講演習	2
		放射線管理計測学特講演習	2
特別研究		診療放射線学特別研究	6

○印の科目は看護学研究科との共通科目です。

修了要件は、本課程に原則として3年以上在籍し、所定の単位（12単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格することです。

履修方法は以下の通りです。

- ① 放射線画像検査学分野・放射線治療学分野のいずれかに所属します。
- ② 共通科目から2単位以上、所属分野の専門科目から2単位以上履修します。
- ③ 診療放射線学特別研究6単位を履修します。
- ④ 残りの2単位は共通科目又は専門科目（所属分野以外の専門科目を含む）から選択履修します。

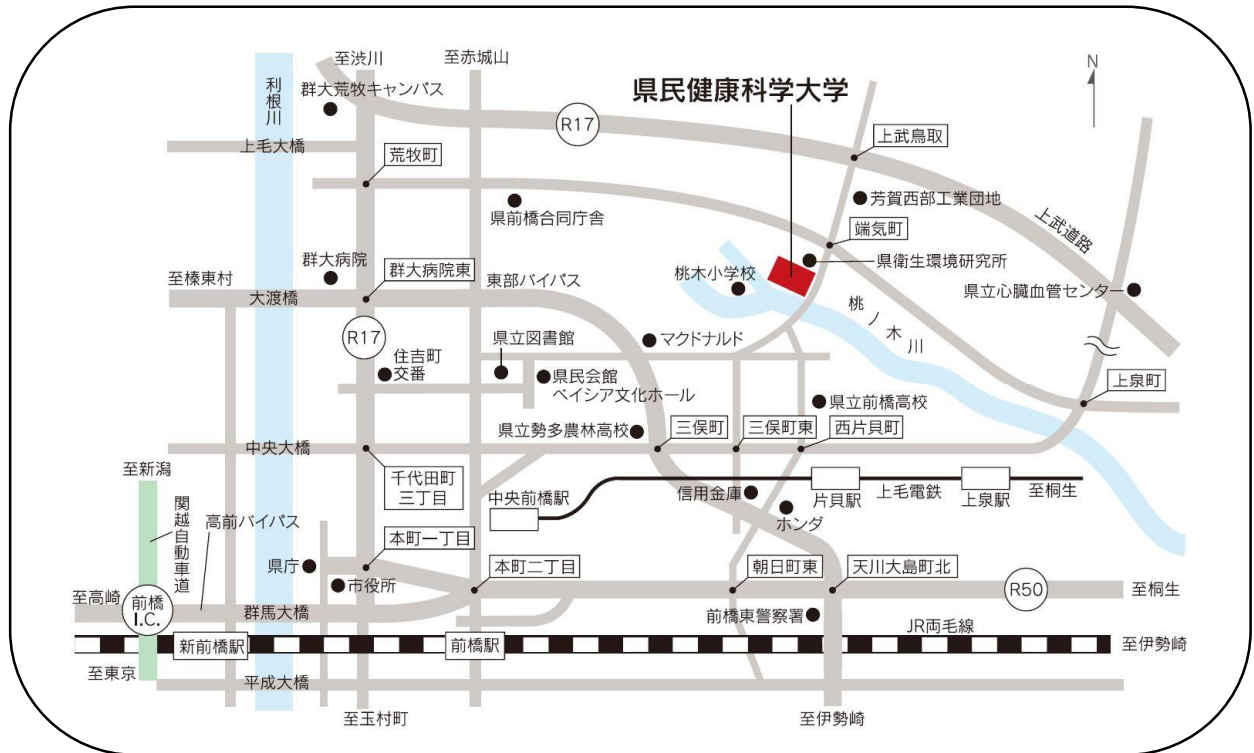
## 20 研究指導教員

出願希望者は、16 ページの「5 出願前面談」を参照の上、研究指導を希望する教員の出願前面談を受けてください。

分野	担当教員名	職位	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像 検査学	上原 真澄	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 IVR における塞栓物質の開発に関する研究</li> <li>2 造影剤内包マイクロカプセルの放出制御に関する研究</li> <li>3 マイクロカプセルを利用したドラッグデリバリシステムに関する研究</li> </ol> </li> <li>・生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 タンパク質の糖化反応とその定量評価法に関する研究</li> <li>2 タンパク質の糖化反応と生体物質の粘弾性の評価に関する研究</li> </ol> </li> <li>・診療放射線技術における職場教育に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経験年数の少ない職員に対する合理的な診療放射線技術の教育方法に関する研究</li> <li>2 診療放射線技術の専門性を高めるための合理的な教育方法に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	佐藤 哲大	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体医工学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 磁気共鳴拡散テンソル画像の解析及び応用</li> <li>2 磁気共鳴冠動脈画像の画質改善法の検討</li> <li>3 生体信号の解析及び高機能化</li> </ol> </li> </ul>
	下瀬川 正幸	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療画像情報学・応用光学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 画質の物理評価・視覚評価に関する研究</li> <li>2 画像処理に関する研究</li> </ol> </li> <li>・教育社会学に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 放射線医療専門職の教育制度・政策に関する研究</li> <li>2 放射線医療専門職の教育課程・教育方法に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	大崎 洋充	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核医学技術に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SPECT 定量解析技術に関する研究</li> <li>2 PET の撮像法標準化と定量解析技術に関する研究</li> <li>3 核医学画像処理技術に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	多鹿 友喜	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学分野のイメージング技術に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 3D イメージングの手法と装置の開発</li> <li>2 3D イメージングに適した多様な生物試料調整法の開発</li> </ol> </li> </ul>
	林 則夫	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 画像診断検査法に関する研究</li> <li>2 医用画像の評価に関する研究</li> <li>3 医用画像処理法の開発に関する研究</li> <li>4 MRI 検査法及びMRI 安全性に関する研究</li> </ol> </li> </ul>
	渡部 晴之	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医用画像処理に関する研究課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医用画像の認識及び処理</li> <li>2 人工知能(AI)技術を用いた撮像法の検証</li> <li>3 人工知能(AI)技術を用いたコンピュータ支援</li> </ol> </li> </ul>

放射線画像 検査学	川村 拓	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像評価に関する研究課題</li> <li>1 放射線感受性ゲル線量画像の評価に関する研究</li> <li>2 医用画像解析及び処理に関する研究</li> <li>・放射線化学に関する研究課題</li> <li>1 3次元線量計の画像化に関する開発</li> </ul>
	寺下 貴美	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療放射線学教育学に関する研究課題</li> <li>1 ICT を利用した教育支援ツールの開発に関する研究</li> <li>2 診療放射線学における教育法・評価法に関する研究</li> </ul>
	長島 宏幸	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医用画像処理技術に関する研究課題</li> <li>1 コンピュータ支援診断システムの開発に関する研究</li> <li>2 表示階調の統一化に関する研究</li> <li>3 低コントラスト分解能の向上に関する研究</li> </ul>
	佐藤 充	講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体医工学・医療福祉工学に関する研究課題</li> <li>1 医療用予防安全技術の開発に関する研究</li> <li>2 人工知能(AI)技術を用いた医療用支援ツールの開発</li> <li>3 Natural user interface を用いた医療機器操作システムの開発に関する研究</li> </ul>
放射線 治療学	五十嵐 博	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題</li> <li>1 ヒューマンエラー及び事故防止対策に関する研究</li> <li>2 組織及び品質マネジメントに関する研究</li> <li>3 コミュニケーションに関する研究</li> </ul>
	原 孝光	教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線による殺細胞効果の増感に関する研究</li> <li>1 上皮成長因子受容体 (EGFR) の経路を標的とした分子標的薬剤と放射線の併用による分子標的放射線療法の開発</li> <li>2 放射線の殺細胞効果を増強する薬剤の探索</li> <li>3 免疫放射線療法の基礎的検討</li> <li>4 放射線線質の違いによる生物効果の差の分子生物学的解析</li> </ul>
	大野 由美子	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題</li> <li>1 粒子線治療の高精度化に関する研究</li> <li>2 新しい診断方法、照射方法に関する基礎研究と要素開発</li> <li>3 QA・QCのための線量の実測と線量推計計算方法の検討</li> </ul>
	杉野 雅人	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境放射線（能）計測及び管理・防護に関する研究課題</li> <li>1 地表ガンマ線及び宇宙線による被ばく線量の評価</li> <li>2 ラドン及びトロンに関する研究</li> <li>3 環境放射線（能）測定法に関する研究</li> </ul>
	高田 健太	准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療物理学及び医学物理学に関する研究課題</li> <li>1 放射線治療ビーム（粒子線，BNCTを含む）の物理的線量や線質の評価に関する研究</li> <li>2 放射線治療ビーム（粒子線，BNCTを含む）の生物学的線量に関する研究</li> <li>3 モンテカルロシミュレーションによる放射線の挙動解析</li> </ul>

# 案内図



## <公共交通機関>

- JR「前橋駅」北口6番乗り場から永井バス「小坂子」又は「菰窪公園」行き約15分、「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

## <自家用車>

- 国道50号から「朝日町東」交差点より約2.5キロ
- 国道17号から「荒牧町」交差点より約4.5キロ、県道前橋赤堀線「端気町」交差点より南に200メートル

試験に関する問い合わせ先



**群馬県立県民健康科学大学 事務局教務係**

〒 371-0052 群馬県前橋市上沖町 323-1

T E L 027-235-1211(代) / 027-235-1244(教務係直通)

F A X 027-235-2501

E-Mail nyuusi@gchs.ac.jp

U R L <https://www.gchs.ac.jp/>